



日本の第一次産業体験プロジェクト 農林水産 Show! 新聞

発行：農林水産 Show! プロジェクトチーム
URL：http://www.facebook.com/nosuishow
Twitter ハッシュタグ：#nosuishow



vol.4

2012/10/20-21

モニターツアー 山形



歓迎!

山形さ よぐござったねえ



市川山形市長が はながたベニちゃん と 山形駅までお出迎え!!

日本一の芋産地



身も心も温まった旅

- 里芋掘り
- 紅花
- 餅つき
- 芋煮会
- 熊は鼻
- ベニちゃん
- クマちゃん
- 五こんにやく
- 藤原の星堂
- 鮎太郎

10月20日(土) 行程

- 08:08 東京駅出発 (つばさ 127号)
- 10:55 山形駅到着
- 11:30 餅つき体験&昼食 (高瀬さん)
- 14:00 「紅の蔵」見学
- 15:30 里芋収穫体験 (佐藤農園さん)
- 17:00 「蔵王四季のホテル」到着

10月21日(日)

- 09:00 トレッキング (鳴ノ谷地沼)
- 11:00 芋煮会 (馬見ヶ崎川河川敷)
- 16:18 山形駅出発 (つばさ 150号)
- 19:04 東京駅到着

山形市様のために

「ぜひ来てけらっしやい! 山形のじいちゃん・ばあちゃんと芋掘って名物いも煮会すっぺ! 心あたたまる紅葉の蔵王温泉泊2日」という一息では言いえないほど長いタイトルのツアーが催行され、お笑い芸人、スタツフ含め約40名の参加者が東京から山形に足を運んだ。

農山漁村からお声がかかれば喜んでどこへでも(?) 馳せ参じるというポリシーの「農林水産 Show!」が参加した今回のツアーは、山形市が初めて企画したもので、山形でいろんな体験をして、その良さをSNSやブログ等を使って全世界に発信していくことというものは、参加者全員で体験したものは、餅つきや里芋の収穫、芋煮会等盛りだくさん。(右表参照)



プロジェクトリーダーであるエレキコミック・今立進と、カオポイント・おくまもも参加してツアーを盛り上げた。「誰がお金を出してくれたから低価格で参加できたのか、それをしっかり考えるように」と、今立は出発時に参加者に念を押した。

人情に心打たれる

東京から約3時間の新幹線移動を経て山形に到着した一行を駅で出迎えたのは、市川山形市長と市の観光PRキャラクター「はながたベニちゃん」。「歓迎! 山形さよぐござったねえ」の横断幕に参加者一同は大感激。

その後も、産直たかせて参加者がついたお餅をあんこ餅や納豆餅につけてくれたおばあちゃんたち、紅花のドライフラワーを参加者のために包んでくれたおじいちゃんたち、無農薬で育てた里芋への愛を語ってくれた佐藤夫妻、雨中のトレッキングにも関わらず明るい解説で参加者を楽しませてくれたガイドの山口さん、参加者のために早朝から河川敷で芋煮会の準備をしてくれた多くの人たち、そして、

この経験を伝える

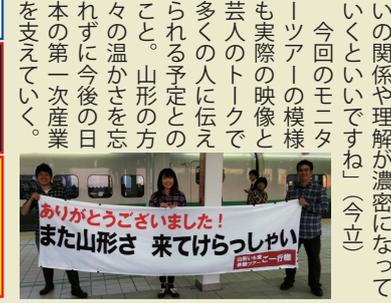
「今回初めての山形でしたが、その素晴らしさを体感したのでまた来たいですし、この良さを広めたい!」(30代女性参加者)

「農林水産 Show!」の役割はこのような経験を通して都会と農山漁村を繋いでいくこと。我々が現地を訪れて得たものを都会のライブハウス等で若い人たちに伝えていくことで、お互いの関係や理解が濃密になっていくといいですね(今立)



エレキコミック
やついいちろう(左)と今立進が'97年に結成したお笑いコンビ。ライブを中心に活動を続け、独ライブは毎回ホール満員にする人気を持つ。

今回のツアーを充実したものにすべく休日返上で頑張ってくれた山形観光推進室の3人のスタッフさん(今回のために3人お揃いのチェックのシャツを新調したとのこと、そして忘れてはいけないバスガイドのK子ちゃん。会う人会う人みなさんが温かく、その温かお持てなさんがツアー参加者の心に響いたように、帰京後すぐ「山形大好き」や「また山形に行きたい」などという声がたくさん聞かれた。



イマダチススムの週刊私

twinkle
www.twinkle-co.co.jp

knt!
近畿日本ツーリスト

テーマ検索型目的別トラベルサイト
旅の発見
http://tabihatsu.jp/

ゲームのチューニングは、**猿楽亭**
03-3406-8688

エレキコミック
http://elecomi.com/